

確定申告や市・県民税申告に利用いただけます

おむつ代の医療費控除確認書

・障害者控除対象者認定通知書

介護保険の要介護認定を受けていて条件を満たす人は、確定申告や市・県民税申告に使用できる書類を受け取ることができます。

【おむつ代の医療費控除確認書】

医師が発行する「おむつ使用証明書」に代わり「確認書」を受け取れます。令和6年の申告から、おむつ代の医療費控除を初めて申告する人も、確認書を発行できるようになりました。

■対象：次の条件を全て満たす人①令和6年分を申告する、またはこれまで令和5年分申告以前の申告でおむつ代の医療費控除をした②要介護認定を受けている③要介護認定の際に使用した主治医意見書により、寝たきり状態で尿失禁の可能性または失禁の対応でカテーテル使用があると認められる

【障害者控除対象者認定通知書】

障害者手帳の交付を受けていない場合でも「障害者控除対象者認定通知書」を受け取れます。

■対象：次の条件を全て満たす人①令和6年12月31日時点で要介護認定を受けている②要介護認定の際に使用した調査票または主治医意見書により、身体障がいは認知機能の状態が、市の定めた基準に該当すると認められる

【共通】

■申し込み：介護保険被保険者証を持参し長寿介護課へ

■問い合わせ：長寿介護課 ☎72-8219



おむつ代控除



障害者控除

助成対象になる接種期間は令和7年1月31日までです

インフルエンザ（小児・65歳以上） ・新型コロナウイルス（65歳以上）ワクチン接種

インフルエンザおよび新型コロナウイルスの助成対象となる接種期間は、1月31日（金）までです。接種を希望する人は、期間中に接種しましょう。

市外・県外の医療機関などで接種をする人も、申請すると接種費用の助成を受けられます。

65歳以上のインフルエンザおよび新型コロナウイルスワクチン（市外・県外での接種）必要書類を発行します。接種日の10日前までに下記申し込みのフォームまたは電話で健康づくり課へ事前に申請してください。

※接種後の費用助成は行っていません。



小児インフルエンザワクチン（市外・県外での接種）

全額自己負担で接種した後、3月31日（月）までに下記申し込みフォームで助成金の申請をするか、電話で同課へお問い合わせください。

■問い合わせ：健康づくり課 ☎72-8295

最短5日でマイナンバーカードを発行します

マイナンバーカードの特急発行

マイナンバーカードの申請から交付まで通常1カ月程かかるものを、1週間以内（最短5日）に短縮できます。

■対象：マイナンバーカードを紛失し

た人や1歳未満児など

※詳細は市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：市民課 ☎72-8200



脳の状態をスマホで診断してみませんか タッチで脳の健康度チェック

自分のスマートフォンで簡単に集中力や記憶力をチェックすることができます。今の脳の健康度を測定してみませんか？

■とき：1月27日（月）9時30分～11時（各回20分程度）

■ところ：hokko1階ふれあいホール

■対象：40歳以上

■定員：各回10人（先着順）

■持ち物：スマートフォン



■申し込み：右記申し込みフォームまたは希望時間、氏名、生年月日、連絡先を電話またはファクス（64-0287）で長寿介護課へ

■問い合わせ：長寿介護課 ☎72-8219

高齢者の暮らしを支える一員になりませんか

「暮らしのおたすけ便利帳」掲載団体募集

高齢者の暮らしを支えるためには、公的な支援制度だけでなく、各種団体による多様なサービスが求められています。市は、市内のサービスを掲載した「暮らしのおたすけ便利帳」を作成し、市のホームページで公開しています。本誌改定に伴い、新たに掲載可能な団体・企業などを募集します。

■掲載中のサービス：家事代行（買い物、調理、ごみ捨てなど）、草刈り、除雪、移動支援、サクル活動、高齢者向けのボランティア活動など



申し込みフォーム



市のホームページ

■申し込み：1月31日（金）までに左記申し込みフォームで長寿介護課へ
※詳細は市のホームページをご覧ください。

■問い合わせ：長寿介護課 ☎72-8219

食材納入希望者は登録申請を

学校給食用の食材を納入する事業者募集

安全な学校給食を提供するため、納入業者の登録制度を定めています。給食に使用する食材の納入を希望する事業者は、あらかじめ登録を行ってください。

登録申請書類の審査後、登録を認めた事業者に対し、食材ごとに価格の見積りを依頼し、半年または1カ月ごと

に発注先を決定します。

■対象：食の安全や地産地消の推進に関心を持つ事業者および野菜などの生産者

■申し込み：納入を希望する月の3カ月前までに北部学校給食センターへ
■問い合わせ：北部学校給食センター ☎68-2207



お元気ですか市長です。⑫

北上市長 八重樫浩文

JR北上線全線開通100周年を迎えて

JR北上線（北上駅～横手駅）は、今年11月15日に全線開通100周年を迎えました。開通当時は奥羽山系での鉄や銅など鉱脈開発が盛んであったことから、人も物資も行き来が盛んでした。現在は鉱山は閉じられ、いわゆる車社会となり、人口減少も相まって利用者が激減し、路線としての収支は非常に厳しい状況にあります。

鉄道は地域と地域をつなぐ基幹的社会資本であり、高校生や高齢者など交通弱者にとってはまさに「生活の足」でもあり、何としても守っていかねばなりません。このため、当市、西和賀町および横手市の行政・経済団体など関係者による協議組織を設置し、国やJR東日本に対する存続要望活動をするともに、スタンブラリーやフォトコンテストなどさまざまな利用促進事業を展開しています。10月26日には、北上駅、ほととよだ駅、横手駅でそれぞれ工夫を凝らしたイベントを実施しました。



八重樫浩文

ぜひ、この100周年を契機に、JR北上線の重要性を沿線住民はじめ北上市民皆さんに改めて認識していただき、乗ったことのない人も一度は乗車体験していただきたいと思っています。北上市地域女性団体協議会北上支部では、交流研修会としてJR北上線応援の旅を企画実施していただきます。このような応援の取り組みがもっと広がって、市民の皆さんに「マイレール意識」を持っていただき、もっともって乗ってもらえればと思います。

私も先日、妻と最寄りの江釣子駅からほととよだ駅まで乗って、駅前の湯夢プラザでそばを食べ、ネビラキカフェでコーヒを飲み、駅中温泉につかって、ほっこりしてきました。

皆さんも白河は「一見しただけ。紅葉の季節は終わりましたが、車窓から見る四季折々の移りゆく景色は美しく穏やかで、ほっとさせてくれます。

ぜひ、一度、ご乗車ください！